



JA愛知北の 自己改革



私たちJA愛知北の使命は、食と農を通じて組合員の皆様、地域の皆様のお役に立つことです。この使命を果たすため、これまでの事業を見直し、新たな取り組みを実施する「JA愛知北の自己改革」を進めてきました。
この自己改革の詳細とご利用者の皆様の声をまとめましたので、JA愛知北の新たな魅力を感じていただければ幸いです。

組合員の皆様、地域の皆様の声を取り入れて…
JA愛知北は“自己改革”を続けます！

もっと皆様のためになる存在になりたいと願ってJA愛知北が行ってきた「自己改革」。
この改革をさらに推し進めるべく、皆様のご意見に耳を傾け、ご要望にお応えしていきます。

皆様のお声により実現した事業



農業塾において
多彩なコースを開講

産直センターに有機コーナー設置

産直センター間による
品揃え強化

農機具レンタルによる
コスト低減

地元農産物を使用した
6次化商品の製造

管内花卉PRのための支店販売

酒米「夢吟香」生産組合の設立

ねぎ皮むき施設への作業受託

多様な担い手の育成・研修項目の充実

肥料・農薬価格の低減

自己改革の取り組みは、組合員の皆様に評価をいただいて初めて成果となります。
また、地域に根ざした協同組合を目指すにあたり、
地域にお住まいの皆様、ご利用者の皆様のお声もまた、等しく大切なご意見です。
JA愛知北では、皆様の「願いや想い」を受け止め、引き続き自己改革に取り組んでいきます。
どうぞ、変化し続けるJA愛知北を今後ともよろしく願いいたします。

J A愛知北の“自己改革”とは？

ご挨拶

愛知北農業協同組合代表理事組合長 安達 秀正



J A愛知北は「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を目指しています。

その実現のため、相互扶助の理念に基づき、地域の皆様へ安全・安心な農産物をお届けすること、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化などを目標として掲げ、日々さまざまな事業に取り組んでいます。

例えば、「地域に根ざした協同組合」としての役割を果たすため、信用事業、共済事業、営農生活関連事業など、農業者の皆様や地域の皆様のくらしに必要なサービスを提供する活動もそのひとつです。

また、農業者の所得増大・地産地消のため、地元農産物を使った「6次化商品の開発」にとりわけ力を注いでいます。数年前までは取り扱いはなかった農産物やその加工品が、この数年間で皆様に親しんでいただける地域の特産品へと成

長した実績は、左ページの生産数推移にてご確認いただけることと存じます。

さらに、「農業生産の拡大」のために販売力強化、生産コスト低減、新規就農者を含めた農業経営体への育成や支援、それに伴う営農事業体制の強化といった対策を実行し、また「地域の活性化」に貢献するために、地域の皆様方にくらしを豊かにする「総合事業」として、支店夏祭りなどのイベントを実施してまいりました。

こうした一連の事業・活動すべてを、私たちJ A愛知北は“自己改革”と位置づけています。自己改革とはすなわち、「政府主導でなく、自ら進んで、今まで以上に皆様のお役に立つJ Aとなるために行う改革」という決意表明であり、今後も、組合員の皆様・地域の皆様のご要望や願いを受け止め、停滞することなく変化し続ける組合であるための挑戦なのです。

組合員の皆様の「願いや想い」を受け止めて…
J A愛知北は“自己改革”をこのように進めています

組合員の皆様と話し合い、ニーズを掘り起こす

「願いや想い」を集約し、事業に反映

事業計画を策定・実践

J A愛知北 自己改革の3大目標は

農業者の所得増大

- 付加価値の増大と新たな販路の開拓による販売単価の向上
- 生産コスト低減の取り組み強化
- 農業経営体等への支援と新規就農者の育成
- 営農事業体制と出向く営農指導の強化

農業生産の拡大

- 生産者・消費者ニーズに応える
- 専門の体制で担い手農家を支援
- 生産効率を高める施設整備を促進
- マーケットインに基づく生産・販売方式への転換

地域の活性化

- 支店活動を通じた地域コミュニティの活性化
- 各種イベントを通じた総合事業サービスの拡大
- 利用者のニーズに合った生活資材の提案

優良
全国646JAの中から
J A愛知北が
表彰されました

J A愛知北の取り組みが、平成30年度「優良表彰組合」として全国農業協同組合中央会から表彰されました。

6次化商品の開発・製造、産直センター・インショップ等を通じた販路の拡大、多彩なコースを設けた農業塾による農業者支援と多品目化の推進など、都市近郊農業を特徴とする地域におけるJ Aとして、生産から販売まで一貫した戦略を展開していることが評価されています。

全国646JA中
表彰組合は
わずか8組合!
(平成30年4月現在)



J A愛知北の取り組みは農林水産省ホームページにも掲載されています。
http://www.maff.go.jp/j/keiei/sosiki/kyosoka/k_kenkyu/attach/pdf/index-30.pdf

＼ 地域の特産品として成長しました! ／

新たに開発した6次化商品 生産数の推移



地元農産物を使用した6次化商品の開発・販売・PR

地元農産物をさまざまな商品として6次化しています。引き続き各店舗で販売促進活動を実施するとともに、商品開発を継続的にを行い、各種イベントで販売していきます。



地元産小麦商品の開発で規模拡大に意欲

小麦・米生産者 保浦 富成さん・幸子さん(犬山市)

犬山南部で長年米農家を営んでおり、平成26年からは水田の転作品目として小麦も生産し始めました。最初はなんとなく始めた小麦栽培でしたが、JA愛知北さんが地元のブランド小麦「きぬあかり」を使った「うどん」や「ひやむぎ」を商品開発して



学校給食関係者等を招いた試食会

酒米「夢吟香」栽培は年々拡大中

夢吟香生産組合 組合長 近藤 祐康さん(扶桑町)

平成27年に4名で発足した当生産組合ですが、JA愛知北さんの尽力により現在は組合員も9名となり、作付面積を年々増やしております。できあがった日本酒「夢吟香」は「味・香りとともに良い」と皆様より好評を得ており、生産者冥利につ



岩倉総合高等学校とのコラボ「岩倉オリジナルラベル」

規格外品の買取と有利販売

モモ・ミカン・イチジク等の規格外品を生産者から買い取り、業務用として地元企業等へ販売を行っています。

今後はさらに販路を拡大し、取扱数量の増加を目指します。

モモ規格外品 買取量	
平成26年度	0kg
平成30年度	5,381kg

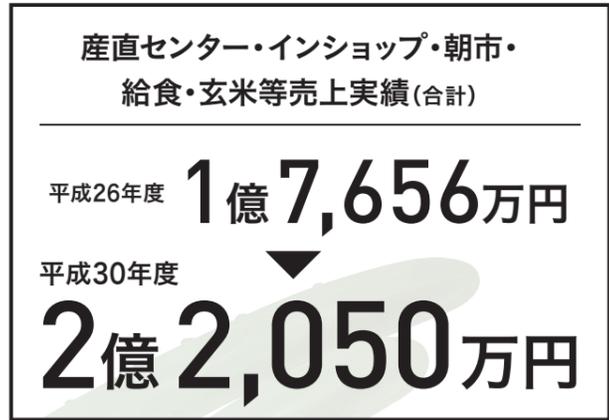
モモ規格外品を有利販売

モモ生産者 宮田 弘臣さん・春枝さん(犬山市)

会社を定年退職後、家業であったモモの栽培に従事しています。会社員時代は妻と母に任せきりにしていました。が、今は妻と二人三脚で頑張っています。

モモはとてもデリケートな果物で、ほんの少し傷がついたり、収穫時期を誤ったりすると廃棄対象になってしまいます。JA愛知北さんが取り組んでいる自己改革により、今まで廃棄していた規格外品を加工品の原料として買い





産直センター・インショップ・朝市の販売推進 地元産米「あいちのかおり」玄米等予約販売の強化 学校給食における取り扱いの拡大

産直センターでは、消費者ニーズをとらえた「売れる野菜づくり」を生産者へ提案し、品揃えの安定化を進めています。オリジナルレシピの作成、地元農産物の試食会等イベント開催による販売促進・集客にも努めています。

さらに、ショッピングセンター・百貨店・スーパー等にインショップを出店し、朝市を開催するなど、新たな消費者層を開拓。買取販売事業の拡大による商品拡充も進めています。アンケート実施によって判明したお客様のご要望をもとに規格を定めた地元産米「あいちのかおり」は、さらなるPR活動等を通じて予約販売の強化を図ります。

また、管内各市町の学校給食用食材の必要量を把握し、計画的生産と直接販売を進めています。



岩倉でトマト農家を営み、JA愛知北さんの産直会員として産直センター等で販売しています。産直センター前身のグリーンセンター時代から部会員を務め、産直センター立ち上げ、売場の整備やPR、イベント開催などをJA愛知北さんと一緒に取り組んできました。

魅力ある店舗づくりで売上増

トマト生産者 船橋 哲夫さん(岩倉市)

学校給食への供給で所得安定

キュウリ等生産者 長谷川 正信さん(江南市)

数年前、JA愛知北さんから学校給食の話をしていただき、地元の学校へキュウリを供給しています。地産地消に加え、市場出荷に必要となる段ボール等資材・運賃等コストの削減ができて助かっています。また、安定的な所得が望めて大変ありがたいです。



日給食でおじいちゃんがつくったキュウリが出たよ」と言ってくれるようになって、会話が増えました。

6次化商品の開発により 地元特産品をブランド化

尾張唯一の緑茶栽培を行う日比野製茶の茶葉を使用した、ペットボトル緑茶「やぶきた茶」を販売しました。

また、あいちの伝統野菜「越津ねぎ」ブランドをPRするため、毎年開催される「全国ねぎサミット」

に参加しています。6次化商品として愛知江南短期大学の学生と共同でドレッシングやみそだれの開発も行いました。



尾張唯一の緑茶をブランド化

日比野製茶代表 日比野 清正さん(犬山市)

JA愛知北さんの組合員としてお付き合いをしてきましたが、平成30年にJA愛知北さんから犬山緑茶「やぶきた茶」ペットボトルが販売され、犬山緑茶ブランドの知名度を上げていただき大変喜んでいました。多くのお客様より「犬山でもお茶が採れるんですね!」と問い合わせをいただくなど、反響の大きさに驚いています。数年

前より息子も就農し製茶業を営んでくれていますので、圃場拡大も視野に入れ、今後犬山茶を広めていきます。



金融商品の特典に地元農産物を採用し、 地産地消を推進

金融商品のプレゼントとして地元農産物を採用することで、知名度の向上を図り、販路拡大と地産地消を推進しています。



地元農産物を金融商品特典に

林ファーム代表 林 晋右さん(犬山市)

犬山でブドウ農園を営んでいます。犬山でブドウ栽培が行われていることはあまり知られておらず、これまで直売をメインに販売してきました。JA愛知北さんから「ブドウ』を使用した特典として『ブドウ』を使いたい」という話をいただいて、大変嬉しく思いました。

これをきっかけに産直センターにも卸すようになり、消費者の方々に犬山のブドウを知ってもらえるようになりま



多彩なコースを設けた農業塾で
多様な担い手を育成

新規就農者の確保・育成を図るため、「農業塾」を開講。野菜コース、ねぎコース、出荷者育成コースなど、さまざまなコースを設けて新規就農者の育成を行っています。

また、株式会社JA愛知北アイファームを設立し、研修生を受け入れて先進的な農業経営の実践や独自の就農支援に取り組んでいます。

そのほか、独立新規就農者や親元就農者を対象とした農業経営に関する費用助成も行い、「プロ農家」として地域農業を支える多様な担い手の育成に力を注いでいます。

農業塾 修了者数
平成18年度～平成30年度

累計 **165**人

家庭菜園コース、ダイコン専門コース、ダイコン・ネギコース、葉菜専門コース、キャベツコース、自然栽培コース、休日ねぎコース、出荷者育成コース修了者の合計。



就農支援助成金
平成27年度～平成30年度

累計 **927**万円

新規就農者営農支援・親元就農支援の合計。



農業の基本を「から学びました

農業塾 家庭菜園コース受講
江口 修さん(扶桑町)

定年退職後の第二の人生、無理なく健康的に野菜づくりを学びたいと思い、農業塾の門をたたきました。右も左もわからない初心者なのに、わかりやすく丁寧に指導をいただき、今では産直センターや朝市に少量ですが出荷させてもらっています。

徐々に耕作面積を広げ、安定的な出荷を目指したいと考えていますので、JA愛知北さんにはこれからもより実践的なアドバイスを期待しています。



農業における肥料・農薬
価格の低減

肥料・農薬等の価格を近隣の量販店と同等以下に引き下げる、生産部会等への特別価格を設定するなど、組合員の皆様へのサービスを拡充しています。



農作業受託と
分業化による
生産者の労力軽減

ネギ皮むき機の増設・江南集出荷センターの新設移転により、さらに品質を保ちながら出荷量増加に対応できるようになりました。



ネギ皮むき施設出荷量	
平成26年度	22.2t
	▼
平成30年度	31.0t

米・大麦を中心に地元の農業を支える

JA愛知北さんからは、昔から肥料・農薬をたくさん購入しています。価格を上げていただいたのもうれいですが、作業工程に合わせて購入した商品を使う分だけ納品していただけたので非常に助かっています。また、弊社の従業員がJAの職員さんたちと交流し、品質の向上を目指して互いに相談し合い切磋琢磨する関係を築けているの



もありがたいです。これからも、地元農業を支える仲間として頑張っていきたいと思っています。

服部農園有限会社 代表取締役社長 服部 忠さん(大口町)

ネギ皮むき調整委託で労力軽減

主にあいちの伝統野菜「越津ねぎ」を生産しています。収穫した後の皮むき作業工程に多くの時間が必要なたため付けを調整せざるを得ませんでした。JA愛知北さんの皮むき施設を利用することで作業負担が減り、作付面積を広げることができました。今後、「新しくできた「江南集出荷センター」内の皮むき施設



越津ねぎ等生産者 後藤 乾治さん(江南市) を活用させてもらい、今以上に生産していきたいと考えています。

越津ねぎ等生産者 後藤 乾治さん(江南市)

「まちたんけん」受け入れ

ご来店に感謝を込めて...

6次化商品「麦茶」をどうぞ!

「布袋新春こども書道展」表彰&展示

種まき指導で小学生のみんなとダイコンの種をまいたよ!

特産のネギやダイコンから「食について学ぼう!」

地元の農業について学ぼう!

保育園のみんなとバケツに古代米を植えて収穫したよ!

トウモロコシの収穫体験♪

親子でイモイモ大作戦♪

守口大根ってすご〜く長いんだね!

JAはいろいろなお仕事をしているんだよ

地元の朝採りイチジクおいしいよ♪

保育園を訪問してみんなとふれあったよ!

地域活性化活動助成にかかる助成一覧

江南市	
寄贈	江南市スポーツ少年団への優勝旗 在宅障害者デイサービス施設「あゆみ」への加湿空気清浄機 自立支援施設「わかさ園」への加湿空気清浄機 心身障害者小規模授産施設への加湿空気清浄機 休日急病診療所への加湿空気清浄機 古知野児童館へのウォータークーラー 交通児童遊園へのゴーカート
協賛	LEDイルミネーションコンテスト
犬山市	
寄贈	行政への農地パトロール車両 行政への草刈り機 行政へのマルチコプター(ドローン) 行政への鳥獣被害対策捕獲器具 行政への高圧洗浄機
助成	ダムカード配布による地域活性化事業

大口町	
寄贈	大口町スポーツ施設へのベンチ
協賛	大口町NPO登録団体「SHIPおおくち」 特定非営利活動法人「子どもと文化の森」
助成	地域で活動する団体や住民への出張支援
扶桑町	
寄贈	行政への有害鳥獣用捕獲檻 行政への防災資機材 行政へのゼッケン
岩倉市	
助成	尾北自然歩道休憩所案内板等の整備
その他	岩倉市・岩倉総合高校・JA愛知北の包括連携

1支店1協同活動

ふれあいまつり

IAまつり

布袋ふらりん日和

コミュニティ・スポーツ祭

江南夏祭り

江南市民サマーフェスタ

地域や次世代とのつながり強化、新たな仲間づくり、地域に根ざしたJAとしてのPRのために、小学校への出前授業や地元のお祭りへの参加といった1支店1協同活動、収穫体験、管内自治体の地域活性化活動に対する寄贈など、さまざまな活動に取り組んでいます。

また、親子農業体験や料理教室、地産地消料理コンテスト、「子ども大学」での講座開催、女性部・青年部の活動など、地域の皆様との交流や意見交換を積極的に行っています。

お花見シーズン前に五条川を美しく♪



犬山市「子ども大学」

親子農業体験



農業体験を通じて「農業」と「食」の大切さを学びました

野菜を育てて、収穫して、料理してみんなで食べたよ

農業施設等の整備

平成31年4月、アイファーム施設&農作業受託の拠点として竣工

江南集出荷センター



令和2年2月には大口育苗センター、8月には岩倉ライスセンターが竣工予定です。今後も施設整備を随時検討していきます。

岩倉農地保安全管理組合を設立



農家および後継者の支援、良好な農業環境と都市環境の維持保全に取り組んでいます

灯油のお値打ち販売



市場調査を毎週行い、量販店に負けない価格で販売!



青年部



フレッシュミズ



女性部



たすけあいの会



JA愛知北の取り組みが農林水産省ホームページに掲載されています!



組合員の意見を積極的に取り入れた事業運営を行っているJAとして、JA愛知北の取り組みが掲載されています。

http://www.maff.go.jp/j/keiei/sosiki/kyosoka/k_kenkyu/attach/pdf/index-30.pdf

平成28年、岩倉市・愛知県立岩倉総合高等学校と包括連携協力に関する協定締結



片岡市長(中央)、丹下校長(左)と安達組合長(右)
(役職は平成28年8月現在)

愛知県立岩倉総合高等学校のみなさんと一緒につくりました!



毎年変わる岩倉限定デザイン「夢吟香」



美術部のみなさんがつくったお米のスタンドグラス風アート 美しい~!!



給食 約100食をつくる大量調理実習です

愛知江南短期大学子ども健康学科のみなさんと共同開発&給食実習



ねぎみそだれは実習にも使用♪



「越津ねぎ」を使って共同開発した「こってりねぎみそだれ」と「さっぱりねぎドレッシング」

令和元年、江南商工会議所・愛知江南短期大学と包括連携協力に関する協定締結



松永会頭(中央)、伊藤学長(右)と安達組合長(左)
(役職は令和元年5月現在)

地域の野菜ってこんなにおいしい!

地産地消料理コンテスト



第1回受賞者の皆様と

みんなでつくって食べるとおいしいね!

新しい調理方法を学べて役立ちます



第2回受賞者の皆様と



JA愛知北の“自己改革”って、なんね!

皆様から、こんなお声をいただきました。

新鮮野菜のさらなる充実に期待!

石原見枝子さん(岩倉市)

産直センター岩倉店を週に2〜3回利用しています。スーパーとは違って、採れたての新鮮な野菜がたくさん並んでいるので、お店を訪ねるのが毎回楽しみです。生産者のお名前が記載されていて、安心して買えるのがうれしいところです。お気に入りの農家さんもできました。



産直センター岩倉店

残念なのは、午後になると売り場から野菜が極端に少なくなってしまう、空きスペースが目立つこと。ぜひ改善していただき、これからますます地元野菜の品揃えを充実させてください!

採れたて新鮮野菜はつくり手の顔が見えるのもうれしい



家族で参加できるイベントがいっぱい

浅井久美子さん(扶桑町)

住宅ローンをきっかけに、JA愛知北さんとお付き合いが始まりました。子どもと一緒に参加させていた「親子農業体験」では、自然の中で農業の楽しさを感じることができて貴重な体験となりました。また、住宅ローン利用者が対象となっていた「イモ掘り」も、家族みんなで体験させてもらいました。子どもが大喜びした楽しいイベントでした。



住宅ローン利用者対象イモ掘り体験



親子農業体験で田植え



農業体験で収穫した野菜をおいしく調理!

フレッシュミズで楽しく生活の知恵を学ぶ

大島有加さん(岩倉市)



友人に誘われ、数年前からJA愛知北の「フレッシュミズ」に参加しています。

活動はさまざまで、農業体験のほか、料理教室や手芸といった趣味のものが中心です。ときには子どもと一緒に活動することもあります。フレッシュミズは自分たちが主役となって自分たちのしたいことを実行し、楽しく交流しながら学びあっている組織です。また、女性部の方たちと一緒に活動することで、食や農、くらしに関する技術や知恵を覚えていただけるので、生活にも役立ちます。ご興味をお持ちの方(20〜40歳程度の女性)、一緒に活動しませんか?



料理教室で野菜のおいしさをあらためて実感!



ミシン教室

フレッシュミズお問い合わせはこちらまで
本店 営農生活部
TEL 0587-55-2397

朝市大好き!開催日や場所を増やして

窪江幸子さん(江南市)



江南厚生病院で毎週火曜10時から開かれる朝市を利用しています。いつも大人気

で、オープンを待つ間に並ぶ間、今日はどんな野菜に出会えるかとわくわくします。地元で採れた新鮮野菜が所狭しと並んでいるのを見ると、つい買いたくなります(笑)。今は週1回の開催なので、できれば週2回ぐらいのペースだと助かりますし、他の場所でもこのような朝市をやっていたらいいですね。また、私はイベントが大好きなので、江南支店で開催される夏祭りも毎年とても楽しみにしています!



たくさんの新鮮野菜にわくわく♪

朝市



江南支店 夏祭り

地産地消の6次化商品が楽しみ

佐藤久雄さん(大口町)



いつも家族でJA愛知北を利用しています。JAは地域密着型なので、何でも気軽に

相談できて安心です。昨年の金融キャンペーンの景品でもらったいろいろな6次化商品は、どれもおいしくいただきました。なかでも「麦茶」は、私の地元である大口町でつくられている六条大麦を使用しているとのこと。香ばしい味わいが気に入って、今ではケース単位で購入するようになり、地産地消に貢献しています。他にも六条大麦を使ったパンやクッキーなどがあれば家族も喜びそうです。これからも地元農産物を原料とした6次化商品の開発を楽しみにしています。



6次化商品はどれもおいしい!なかでも麦茶がお気に入り

